

# 令和8年度 県小教研 表記の統一について

県小教研の表記は、「幼・小・中学校教育指導の重点」の表記を基にしています。

富山県小学校教育研究会

## ○ 令和8年度「幼・小・中学校教育指導の重点」表記

令和8年度版「幼・小・中学校教育指導の重点」の表記においては、常用漢字表を踏まえるとともに、「小・中学校学習指導要領」等、文部科学省が用いる表記を原則とする。

【参考資料】 「常用漢字表」（平成22年11月30日内閣告示）

「学習指導要領」「学習指導要領解説」「生徒指導提要」（文部科学省）

### 1 主な語句の用例

語句	用例	備考
あ あいさつ あう（～しあう） あがる あげる あじわう あたたかい あたる あてる あとで ありがた	<b>挨拶</b> 励まし <b>合う</b> 考えを出し <b>合う</b> 歓声 <b>が揚がる</b> 例を <b>挙げる</b> 内容を <b>味わう</b> ことができるように朗読する <b>温かい</b> 学級づくり <b>当たる</b> ～に <b>当たっては</b> 授業時数を <b>充てる</b> <b>後で</b> 教材の <b>在り方</b>	
い いえる いかす いきもの いっそう	主流であったといえる → <b>備考欄参照</b> 子供の考えを <b>生かしたり</b> 創意工夫を <b>生かす</b> <b>生き物</b> を大切に 一層明確に	「言える」は実際の発言の際に使用する。
う うけとめる うちあわせ うつりかわり うるおい	相手の気持ちをしっかり <b>受け止める</b> 外部講師との <b>打合せ</b> 様子の <b>移り変わり</b> <b>うるおい</b> のある教育環境	
お おく おく おける おこなう おさえる おもいやる おもしろさ および	育成に重点を <b>置く</b> 通知して <b>おく</b> 学校図書館に <b>おける</b> 指導 <b>行う</b> 要点を <b>押さえる</b> 他人を <b>思いやる</b> 心 <b>面白さ</b> 子供たち <b>及び</b> 保護者	
か かかわる かけ かしよ かたより	深く <b>関わり</b> ながら 教材との <b>関わり</b> の中で 言葉 <b>かけ</b> 四 <b>か所</b> <b>偏り</b> なく養われるように	
き きづく きりひらく きをつける	<b>気付き</b> 語句などの働きに <b>気付く</b> <b>気が付く</b> 自分の人生を <b>切り拓く</b> → <b>備考欄参照</b> <b>気を付けて</b> 話すこと	「切り開く」であるが、意味合いから「拓」を使用する。

く	くみあわせる くみたて くらし くりかえし くる	<b>組合せ</b> それらを <b>組み合わせる</b> 語句の <b>組立て方</b> <b>組み立てる</b> <b>暮らし</b> <b>繰り返し</b> ～を <b>繰り返す</b> ～ <b>してくる</b>	
け	けが	事故で <b>けが</b> をする	
こ	こたえる こと ことがら こども ころ	期待に <b>応える</b> 経験した <b>こと</b> 決まりがある <b>ことに</b> 気づき <b>事柄</b> の大体を理解しながら <b>子供</b> → <b>備考欄参照</b> 日 <b>頃</b> から	常用漢字表では「子供」。文科省も平成25年度から「子供」を用いている。
さ	さい さしつかえ さまざまな さらに さらに	その <b>際</b> <b>差し支えない</b> <b>様々な</b> 意味があることを <b>更に</b> 自分の考えを <b>さらに</b> (接続詞の場合)	
し	しかた じくばり したがい(～にしたがう) したがって しゅうとく しゅうとく じよじよに	提示の <b>仕方</b> <b>字配り</b> よく書くこと 示すところに <b>従い</b> <b>したがって</b> 、子供は 基礎的・基本的な知識及び技能の <b>習得</b> 技術の <b>修得</b> <b>徐々に</b>	
す	すえる すぐれる すすめる すすんで すばらしさ すべて	基本に <b>据える</b> 表現の <b>優れている</b> ところ 評価を <b>進める</b> <b>進んで</b> 話し合う <b>すばらしさ</b> <b>全ての</b> 児童	
そ	そって (～にそって)	学習目標に <b>沿って</b>	
た	だいたい たえず たち だれ	出席者の <b>大体</b> の意見を <b>絶えず</b> 人間性を磨き 子供 <b>たち</b> 自分 <b>たち</b> <b>誰</b>	
つ	つきゅう つきゅう つくり づくり (～づくり) つくる づけ (～づけ) つける	課題を <b>追究</b> する 夢を <b>追求</b> する 体力 <b>つくり</b> 環境 <b>づくり</b> 健康 <b>づくり</b> 自分 <b>づくり</b> <b>つくりだす</b> 楽しさ 描く活動と <b>つくる</b> 活動 意欲 <b>付け</b> 動機 <b>付け</b> 位置 <b>付け</b> 片 <b>付け</b> ～を <b>付ける</b>	
て	できばえ できる てだて	技の <b>できばえ</b> → <b>備考欄参照</b> 改善することが <b>できる</b> 子供への <b>手立て</b> の工夫	一般的には「出来栄」であるが、「できる」をひらがな書きすることから「できばえ」とする。

と	とう とおして とおり（どおり） とき とくに ところ ともに【接続助詞】 ともに【副詞】 とりあげる とりあつかい とりかた とりくみ とらえる	子供たちの実態等に配慮し → 備考欄参照 会議を <b>通して</b> 次の <b>とおり</b> である 予想 <b>どおり</b> 事故の <b>ときは</b> 連絡する <b>特に</b> 示す 現在の <b>ところ</b> 差し支えない 活動すると <b>ともに</b> <b>共に</b> 学ぶ 題材を精選して <b>取り上げる</b> <b>取扱い 取り扱う</b> 記録の <b>取り方</b> <b>取組</b> の重視 問題解決に <b>取り組む 取り組み方</b> 積極的に <b>捉える</b>	等…ものごとを列挙する際、その一部だけを示して他を省略するのに用いる。 体言の後は「等」とすることを原則とする。 (⇒用意するなど…)
な	なおす なか なじむ など ならびに	癖を <b>直す</b> ように 地域社会の <b>中</b> から 敬体の文章に <b>なじむ</b> こと 用意する <b>などの</b> → 備考欄参照 <b>並びに</b>	用言の後は「など」とすることを原則とする。 (⇒生徒の実態等…)
ね	ねばりづよく ねらい	<b>粘り強く</b> 実践する <b>ねらい</b> → 備考欄参照	常用漢字では「狙い」であるが、文科省の表記を用いる。
は	はかる はぐくむ はじめ  はなしあい  はやさ	指導との関連を <b>図る</b> 豊かな心を <b>育む</b> 学習指導を <b>はじめ</b> (ことのはじまり) <b>始め</b> と終わり、 <b>始まる、始める、手始め</b> (時間的に早いと) 年の <b>初め、初めて、初めのうち、最初</b> <b>話合いの結果</b> → 備考欄参照 計画を <b>話し合う</b> 声の大きさや <b>速さ</b>	常用漢字では「話し合い」であるが、文科省の表記を用いる。
ひ	ひごろ ひとつひとつ ひとりひとり	<b>日頃</b> の指導 一つ一つの語句の意味 <b>一人一人</b>	
ふ	ふまえる ふれあい ふれあい（ふれあう） ふれる	実態等を <b>踏まえて</b> <b>触れ合い</b> （名詞として使用する場合） ～と <b>触れ合い</b> ながら（動詞として使用する場合） 折に <b>触れて</b>	
ほ	ほか	<b>他に</b> ～の <b>他</b>	
ま	または まちがい	<b>又は</b> <b>間違い</b>	
み	みいだす みぢか みつける みとおす みにつける みやすい みられる	適切な教材を <b>見いだす</b> よさを <b>見いだす</b> <b>身近</b> な自然に触れる <b>見付ける</b> 全体を <b>見通す</b> <b>身に付ける</b> <b>見やすい</b> ～の傾向が <b>みられた</b>	
む	むかう むすびつく	<b>向かう</b> <b>結び付く</b>	

<b>め</b>	めあて めざす	一人一人が <b>目当て</b> をもち ～の育成を <b>目指して</b>	
<b>も</b>	もうしこみ もしくは もつ（無形のもの） もつ（有形のもの） もって もと もと  もとづいて もとより もの ものづくり	<b>申込み</b> <b>もしくは</b> 関連を <b>もちつつ</b> 自分の考えを <b>もつ</b> 用具の <b>持ち方</b> 重い物を <b>持つ</b> 愛情を <b>もって</b> 結果を <b>基</b> に（資料としての意） 指導の <b>下</b> （影響を受ける範囲の意）→ <b>備考欄参照</b>  <b>基づいて</b> 基本的な考え方に <b>基づいた</b> 体育の時間は <b>もとより</b> 、特別活動においても <b>もの</b> の見方 <b>ものづくり</b> や生産活動	※その他の「もと」は ひらがな書きとする。
<b>や</b>	やくだつ	態度を育てるのに <b>役立つ</b> こと	
<b>よ</b>	よい よく よさ よしあし	<b>よい</b> 子 字配り <b>よく</b> 書くこと 一人一人の <b>よさ</b> 配列の <b>よしあし</b> を見分け	
<b>わ</b>	わかり わたり	意見や意図が <b>分かり</b> 全体に <b>わたり</b>	

## 2 主な外来語の表記と略記

使用する	使用しない
アイディア	アイデア
Eメール	eメール
コミュニケーション	コミニケーション
コミュニティ・スクール	コミュニティースクール
コンピュータ	コンピューター
シミュレーション	シュミレーション
スクールガード・リーダー	スクール・ガードリーダー
スタディ・メイト	スタディーメイト
スタディ・メイトジュニア	スタディメイト・ジュニア
ティーム・ティーチング	ティームティーチング
プロバイダ	プロバイダー

(主な略記)

- A L T**……………【Assistant Language Teacher】外国語指導助手  
**J T E**……………【Japanese Teacher of English】日本人の英語指導者  
**H R T**……………【Homeroom Teacher】学級担任  
**I C T**……………【Information and Communication Technology】情報通信技術